

**第60回藤沢市地産地消推進協議会及び
令和8年度第1回藤沢市地産地消推進事業実行委員会 議事録**

	1 開 会
河原崎補佐	それでは定刻になりましたので、ご出席でご連絡いただいている商工会議所の大石委員がお見えにはなっておりませんが、会議の方を始めさせていただきたいと思います。 ただいまから第60回藤沢市地産地消推進協議会の方を開催させていただきます。 本日司会を務めます、農業水産課の河原崎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 この会議のご発言ですけれども、挙手をいただければ事務局の方がマイクをお届けしますので、お名前を名乗っていただいてから、ご発言をくださいますようお願いいたします。 本日の会議の記録を作成する関係上、発言内容を録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。 本日の会議ですが、ご都合によりご欠席の方がいらっしゃいますので、まずご報告させていただきます。 さがみ農協協同組合藤沢市農業経営士協議会の加藤委員、藤沢市畜産会の和田委員、わいわい市藤沢店の大貫委員、江の島片瀬漁業協同組合の北村委員、湘南漁業協同組合藤沢支所の葉山委員、湘南青果株式会社の山田委員、藤沢市商店会連合会の青木委員、市民公募の尾島委員、同じく市民公募の山岡委員、それから神奈川県湘南地域県政総合センターの森委員が本日ご欠席となっておりますのでよろしくお願いいたします。 次に、本日の議題に入ります前に、まずお手元の資料の確認をさせていただきます。 ① 次第および第9期地産地消推進協議会委員名簿 ② 【資料1】藤沢市地産地消計画に基づく事業の令和7年度進捗状況について ③ 【資料2】小学校給食における藤沢産青果物の使用割合 ④ 【資料3】地産地消推進計画第6期策定スケジュールについて

	⑤ 【資料４】令和７年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会事業計画最終報告 ⑥ 【資料５－１～２】令和７年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会収支決算書 ⑦ 【資料６】藤沢市地産地消推進事業実行委員会通帳(写) ⑧ 【資料７】令和７年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会収支決算監査報告 ⑨ 【資料８】令和８年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会事業計画(案) ⑩ 【資料９－１～２】令和８年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会収支予算書 ここまでの事前にお送りしている資料になります。その他に、机の上には閲覧用として、 ①第５期藤沢地産地消推進計画、 ②「食べ歩きマップの藤沢産の豚肉版」 それから改めて③委員名簿ですけれども、資料１０として、実行委員会所属部会というものが一番右側の列に記載されている名簿の方を本日追加で名簿の配付をさせていただいております。 資料が多くありますが、不足しているもの等あればおっしゃっていただければ、追加でお渡しするようにしますので、よろしくお願いいたします。 資料についてはよろしいでしょうか。 本日の会議につきましては、議題は公開としておりますが、傍聴の希望者の方はいらっしゃいませんでした。
河原崎補佐	２ 委嘱状の交付 次第に沿いまして「２ 委嘱状の交付」の方に移らせていただきます。 この度、年度の切り替え等で、新たに藤沢市地産地消推進協議会の委員としてご承認いただく皆様に、川崎副市長の方から委嘱状の方を交付させていただきたいと存じます。 お名前を読み上げさせていただきますので、どうぞ、その場でご起立をいただければと思います。
川崎副市長	(委 嘱 式) ① 井上 和弘 (いのうえ かずひろ) 様 ② 甘粕 和彦 (あまかす かずひこ) 様 ③ 石川 麻央 (いしかわ まお) 様

	④ 山田 芳夫（やまだ よしお）様 ※副市長が委員の席前に移動し、委嘱状を読み上げて交付する。
河原崎補佐	委員の皆様の今後ともよろしく願いいたします。川崎副市長におかれましては、公務の都合によりここで退席となります。ありがとうございました。 この度、新しく委員に委嘱された皆様から順番にお名前と、普段の業務等で地産地消の分野における活動などございましたら、一言ずついただければと思いますので、井上様から順番にマイクの方をお渡しいたしますので、簡単に自己紹介いただければと思います。よろしく願いいたします。
井上委員	ただいまご紹介をいただきました井上と申します。 昨年度まで神崎委員が出席されていたと思いますけれども、役職的には同じ立場になります。藤沢地区のJAさがみで。藤沢地区の委員長として出席をさせていただくことになりました。日頃私も農家です。ちょっと前までは、消防団長もやっていましたけれども、今現在は役職的には農協1本になっています。 家の方では野菜を年間50品目程度で、ほとんど全てが直売絡みです。藤沢のわいわい（市）も含め、自分の店からスーパー関係は、今は私が出る機会が多いので、息子が中心になってやっております。いずれにしても、この会まだ全然わかりませんので、皆様のご支援、ご協力いただきながらやっていきたいと思っております。 よろしく願いいたします。
河原崎補佐	ありがとうございます。続いて甘粕委員よろしく願いします。
甘粕委員	改めまして、こんにちは。市議会議員の甘粕和彦でございます。本年、市議会の建設経済常任委員会委員長を拝命させていただきまして、この会議に、委員として参加をさせていただくということになりました。 建設経済ということですから、まち作り等々を議論するわけでありますけれども、しっかりとこの経済の観点からこの地域の産業であります、農業や地産地消を進めていくというような観点で、しっかりと勉強させていただきながら、また微力ではございますけれども、より推進していける

	ような、そういった立場で前へと進んでいく、皆さんとともに学ばせていただければという風に思っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。
河原崎補佐	ありがとうございました。石川委員お願いします。
石川委員	皆様、こんにちは。藤沢市議会議員の石川麻央でございます。 甘粕委員とともに建設経済の常任委員会で、今年度副委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いします。 私、子供がまだ小さくて、私自身料理好きで、結構子供を育てるときに料理をして、（市役所の）入口のところで野菜がたくさん売られていて、やはり今うちの子供も初め野菜嫌いだったのですが、食べ続けることによって、どんどん野菜が美味しいということをしていただいております。 やはりこうした地元のいいところ、もっともっと僕は子供の世代を見ながら、進めていければなと思います。皆様にご協力をできればと思いますので、ぜひともよろしくお願いします。よろしくお願いします。
河原崎補佐	ありがとうございます。山田委員お願いします。
山田（芳）委員	皆さん、こんにちは。御所見小学校校長の山田と申します。 4月に着任しましてまだ2ヶ月なので、御所見地区ということも、よくわかってないのですが、地場野菜を使った給食を約2ヶ月食べていて、やっぱり違うなと私も感じる場所です。 今日も午前中は5年生と一緒に田植えをしてきて、慶応の学生と一緒にやっていただいたのですが、身近に農産業ということを感じることが出来る地域にいますので、ここでも何かご協力できればと思っております。 どうぞよろしくお願いいたします。
河原崎補佐	ありがとうございました。 ここからの進行につきましては穴戸会長よろしくお願いいたします。
	3 議 題
穴戸会長	それでは、議題に入る前にまず、今回副会長である神崎委

穴戸会長

員が異動により退かれ、新たに井上委員が、さがみ農業協同組合藤沢地区運営委員会から選出されました。副会長については神崎委員から引き継いで、井上委員にお願いしたいと思いますが皆様よろしいでしょうか。

(全員拍手による賛同)

ありがとうございます。

井上副会長、今後ともよろしく願いいたします。

できるだけ円滑に進行を進めたいと思いますので、ご協力よろしく願いいたします。

それでは議題の一番藤沢市地産地消推進計画に基づく事業の進捗状況について事務局から説明をお願いします。

吉江主査

それでは計画に基づく事業の進捗状況についてご説明させていただきます。

ではお手元の資料1をご覧ください。

紙の資料1になりますが、こちらは計画に位置づけられた具体的な取り組みごとに令和7年度の取り組み実績を右側の列に記載しております。

かなり分量が多いものになりますので、ここではこの中から計画で設定している目標値の達成状況を中心に、ご報告いたします。

前の画面をご覧ください。

重点的に取り組む施策(1) 藤沢ブランドの創出については、神奈川ブランドへの登録件数22件を目標としておりましたが、令和7年度は新たに藤沢生まれの藤稔が登録されまして、20件となりました。登録された藤沢生まれの藤稔をPRするためののぼり旗や横断幕等を作成し、PRに貢献いたしました。また藤沢産農水産物を利用した加工品開発支援として、さがみ地粉の会が開発した、藤沢産津久井在来のもやしを使用したしぼり豆の商品化を支援いたしました。しぼり豆については、現在わいわい市で販売され普及が進んでおります。

また今後湘南ブランドに認定される可能性がある農産物として、JAさがみではマーケットインに基づくビーツの栽培・販売の試験を行い、飲食店や横浜港の客船、名古屋市内のスーパーなどで湘南野菜として販売いたしました。紙の資料1枚おめくりいただきまして資料の裏面にございます。

こちらが重点的に取り組む施策の二つ目である給食への供給強化についてです。

藤沢産米の使用数量を一つの目標としておまして、中学校及び保育園につきましては目標を上回る使用数量となっております。

小学校及び特別支援学校につきましては、目標達成には至らなかったものの、計画当初の使用数量が1万2,350キロであったことから、当初と比較して使用量を増やすことができました。なお前の画面保育園の園数が14園から13園になっておりますが、こちらについては柄沢保育園が閉園したため13園となっております。

昨年度は、秋頃から連日報道されておりました米の価格の急騰によりまして、学校給食米の価格も例年の1キロ600円から1キロ1,000円超となり、倍近くまで値上がってしまいました。そのため使用数量は令和6年度と比較してやや減少しております。

在庫自体は安定しているのですが、中東情勢によっては包材費や輸送費の上昇が懸念されまして、価格は高止まりする見込みです。

今年度につきましても、JAさんと学校給食課との協議の中で、極力目標を達成できるよう努めてまいります。

また二つ目の目標である青果物の藤沢産使用割合につきましては、前年度から上昇し16.2%となりました。

しかしながら目標値である21.7%には届いておりません。

こちらの詳細につきましては資料2を御覧ください。

お配りしている資料2の方ご覧いただけますでしょうか。こちらはオレンジ色に網掛けされている品目は藤沢産を使用している青果物になります。

目標値が達成できてない大きな要因の一つとしては、この使用割合の算定方法に起因すると考えております。

藤沢産の使用割合については重量ベースで割合を算出しておりまして、重量が大きくなりやすいジャガイモですとか、玉ねぎ、人参といった主要品目の多くを県外産が占めている状況にあります。

これは汎用性の高いこれらの品目が郊外の大規模農地で多く栽培されておりますので、生産コストですとか輸送コストが抑えられ、結果として都市農業で栽培されるものよりも安価に、かつ安定的に供給できる状況にあるためです。

一方小松菜、ホウレンソウ、キャベツといった比較的軽量の葉物野菜については、藤沢産の使用割合が高い傾向にあります。

しかしながら、令和7年度は青果物に限らず、多くの藤沢産の品目を使用できたとの報告もございました。

目標値に表れない部分も含め、今後様々な観点から取り組んでまいります。

続きまして重点的に取り組む施策として、地産地消の普及

	啓発、食育施策との連携強化を挙げさせていただきます。令和7年度は滝の沢小学校にて地産地消マルシェを開催いたしました。これまでの収穫体験では野菜を収穫し農家さんを講師に迎え講義を受けるといった形がスタンダードなものでしたが、今回のマルシェでは、人参の収穫から梱包、販売までを体験し、これまでの収穫体験にとどまらず、野菜の流通についても体験する新たな試みを実施いたしました。 次に他課の取り組みのご紹介になります。青少年課では地産地消をテーマに「ふじメシ」を実施いたしました。市内の小学生24人が藤沢産の野菜を収穫し、仲間と協力しながらオリジナルピザを作成いたしました。 また健康づくり課では食育推進啓発講座を開催いたしました。テーマは、「地域の食材を使って美味しく食べよう」ということで、藤沢市食生活改善推進団体 四ツ葉会さんを講師にお招きし四季折々の旬の藤沢産農水産物について学び、その後、実際に調理をいたしました。重点施策の三つ目、普及啓発・食育施策等との連携強化の数値目標につきましては、藤沢産のロゴマークの認知度を目標値としております。 毎年実施している3,000人の市民を対象としたアンケートの結果43.5%の方に認知いただいているという結果になり、前年度から横ばいとなっております。 ロゴマークの配布枚数については、令和6年度が約52万枚などに対し、令和7年度は約19万枚でした。 これは藤沢産の農産物が減ったわけではなく大型店の配布のタイミングや、生産者さんが藤沢産のロゴマークを直接パッケージに印刷していたりと、シールによらず藤沢産をPRしているという背景もあります。 今後も認知度向上のため、こちらのロゴマークシールを藤沢産農産物に貼ることや、市民の目に触れる広報等で周知するなどして、普及に努めてまいります。 長期的に取り組む施策については数値目標がございません。令和7年度の取り組み実績については、資料に記載の通りで、おおむね例年通りの内容となります。 以上で報告を終わります。
宍戸会長	ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問やご意見などがありましたらお願いします。 (質疑なし)
宍戸会長	特にないようでしたら、次に進んでよろしいでしょうか。 次に地産地消推進計画第6期計画策定スケジュールについて

	て事務局から説明をお願いいたします。
山田	それでは資料３の「藤沢市地産地消推進計画第6期計画策定スケジュール」の説明になります。 前回会議にご出席されている方には既にご案内しているかと思いますが、藤沢市の地産地消の取り組みについては藤沢市地産地消計画推進計画に基づいて進めているところでございます。今年度はその第５期の計画の最終年にあたります。 本協議会では、来年度以降に向け新たに第６期計画の策定を予定しており、例年年２回開催している協議会を今年度に限り年５回開催いたします。 今回が第１回の協議会となりまして、今後第６期計画の策定の流れについては、次に８月の中旬頃に第２回協議会計画の素案についてということで、事務局の方から第６期計画の素案を提案いたします。 そこで委員の皆様から意見を頂戴し、１０月開催予定の第３回協議会でいただいた意見を反映した案を提示させていただきたいと思います。こちらでまた再度ご意見いただきまして、その後パブリックコメントにて市民からの意見を募集いたします。 パブリックコメントで徴収した意見を反映した案について第４回の１月の下旬のところで、最終案という形で協議させていただければと思います。 最終案を２月議会の建設経済常任委員会にて報告をする予定になっております。最後に、第５回の協議会で皆様へ確定版の報告をし、令和９年度からは確定版の第６期計画に基づいた地産地消推進事業を進めてまいります。 委員の皆様におかれましては、ご多用のところ大変申し訳ございませんが、ご都合の許す限りご出席いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。 以上になります。
穴戸会長	ただいま事務局から説明がありましたがご質問やご意見などがありましたらお願いします。 (質疑なし)
穴戸会長	特にないようでしたら、その他について事務局から何かありますでしょうか。 (事務局からはなし)
穴戸会長	それでは少し早いかもしれませんが、以上をもちまして藤沢市地産地消推進協議会の本日の予定していた議題は全て終了いたしました。それでは、進行を事務局にお返しいたし

河原崎補佐	ます。 宍戸会長ありがとうございました。 これをもちまして第60回藤沢市地産地消推進協議会は閉会とさせていただきます。
令和8年度第1回藤沢市地産地消推進事業実行委員会	
河原崎補佐	1 開会 引き続き、令和8年度第1回藤沢市地産地消推進事業実行委員会に移らせていただきます。改めてここからの進行、宍戸委員長よろしくお願いいたします。
宍戸委員長	3 議 題 それでは議題1「令和7年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会事業計画最終報告」について、事務局から説明をお願いします。
長澤主任	ここからは令和7年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会事業の最終報告をさせていただきます。資料の4をご覧ください。ここにおきまして中間報告において報告済みの事業につきましては省略させていただきます。 まずスライドの2番、かながわブランド登録品PRにつきましては、中間報告において報告した通りとなります。 また地域特産物の生産・加工に関するセミナーにつきましては令和7年度につきましては実施なしとなっております。 続きまして裏面に移ります。 スライドの3番、未利用魚を活用した加工品の開発支援及び学校給食での活用検討につきましても、中間報告での報告からは変更なく、令和7年度は実施していないものとなります。 続きましてスライドの4番、藤沢産農産物を利用した加工品の開発支援につきまして、さがみ地粉の会が生産する藤沢産津久井在来の大豆を活用した加工品開発を支援しました。 今後につきましては、わいわい市等での販売を予定しておりますと、事前送付した資料には記載しておりますが、既に4月には試験販売を実施しておりまして、1ヶ月で250袋ほどが完売したとのことでした。 現在追加販売を実施しているとのことですので。 ページ移りましてスライドの5番です。

こちらの事業につきましては、中間報告からほぼ変更はありませんが令和7年度はこれらの事業に加え、先ほど協議会の方で報告いたしました、滝の沢小学校での地産地消マルシェを実施いたしました。

こちらにかかる費用を実行委員会の予算から一部支出しております。スライドの6番です。これまでオーガニック給食としてまいりましたが、有機JAS認定の関係などから「オーガニック」という呼称については使えないようなものになりますので、長いですが「農薬や化学肥料等を用いず栽培された農産物」の給食の提供としております。

こちらにつきましては、実行委員会予算から3月に人参44キロ分を追加購入いたしました。

続きましてスライドの7番、8番になりますが、地産地消イベント事業につきましては、中間報告において報告した通りですので省略させていただきます。

同じくスライドの9番、花育体験イベント事業につきましても、中間報告において報告した通りですので省略させていただきます。続きましてスライドの10番、こちらの緑育体験イベント事業につきましても中間報告において報告した通りとなります。

スライドの11番につきまして、YouTubeチャンネル「おいしい藤沢産TV」へ新たな動画を投稿し、藤沢産農産物をPRすることで、地産地消の取り組みを推進することとしております。

令和7年度は亀井野にあります「Café ふあもあ」さんにお伺いしましてPR動画を撮影しました。

現在YouTubeで公開しておりますので、ここで委員の皆様にご覧いただきたいと思います。

(Café ふあもあさんPVを再生)

長澤主任

今ご覧いただきました動画につきましては、YouTubeでご覧いただける他、本庁舎のデジタルサイネージにて放映もしております。続きまして藤沢産利用推進店PR用の「食べ歩きマップ」につきましては、令和7年度は新たに藤沢産の豚肉版を作成いたしました。

本日各委員の机上に配付しておりますのでご覧ください。

また利用推進店の登録更新にあわせまして、これまで発行した「藤沢駅周辺版」「片瀬江ノ島駅・鵠沼海岸駅周辺版」「湘南しらす版」につきましても、内容を更新し、発行いたしました。

	それからデジタルマップの活用に関しまして、藤沢市では現在、防災や暮らしに関する地図情報をまとめた「ふじさわキョンマップ」というデジタルマップを市民向けに公開しております。 ふじさわキョンマップにおきましても、藤沢産利用推進店の情報を登録しております。 資料に記載の QR コードからスマートフォンでも確認することができます。続きまして令和 6 年度から新規事業として開始した藻場保全事業につきまして、令和 7 年度も引き続き、藻場保全に取り組む江ノ島フィッシャーメンズプロジェクトのワカメの種苗投入活動に対して支援を行いました。 次に今年の 1 月 25 日に開催されました湘南藤沢市民マラソンにおきまして、ランナー等来場者向けに、ゴール地点にてパック入りの湘南しらす 1,000 食を配布することで、地元農産物の PR を行いました。 用意していた食数につきましては 30 分程度で配布終了となりました。 参加者からも好評で、後ほどご説明いたしますが、今年度も引き続き実施したいと考えております。 以上が、令和 7 年度の最終報告となります。 資料 5 として配付しております予算執行状況につきまして、今年度の収入の部の決算は、イベント参加料並びに預金利息が予算を上回りまして、184 万 7,845 円となりました。 支出の部につきましては事業報告のとおりで、総額 161 万 8,472 円となりました。補助金全てを翌年度に繰り越すことはできないため 16 万 5,204 円藤沢市へ戻入しまして、前年度繰越分でありました 6 万 4,169 円をそのまま翌年度へ繰り越します。 本日ご欠席されておりますが、事前に監事の山田（大）委員より監査を受けておりまして、その結果資料 7 の通り承認されましたので報告いたします。 こちらの報告につきましては以上となります。
穴戸委員長	ただいま事務局から説明がありましたがご質問やご意見などがございましたらお願いします。 私から質問してもいいですか。 YouTube の PR 動画を見せていただきましたが、あれはプロの方が作られているのですか。
山田	予算的なところもありまして、撮影自体は農業水産課の職員が映像等を集めまして、編集に関しては専門的なアプリケ

	ーション等必要になりますので、委託をして、編集は外部委託する形で、この映像になっております。
宍戸委員長	目的としてお店の PR ですよね。 少し感じたのは、私亀井野に大学があるのですが、小さく亀井野の番地が 1 の何番何番って表示されて、お店の画像だけが映るのですけれども、亀井野に職場があっても、「どこなんだろう」となってしまいました。さらに興味があれば、店名を検索して行くということになるのかもしれないですが、近くにいてもどこにあるのかなという感じだったら、もったいないかなって思いました。
山田	補足的にですが、YouTube の概要欄の方には連絡先等は記載しているのですが、確かに映像を見ただけでは場所がわかりづらいというのは、一つあるかと思いますので、今後の動画作成の参考にさせていただきたいと思います。
宍戸委員長	周りを映しちゃいけないとか、何か規定があるのかもしれないのかなという風に思いました。
山田	左下に地図を入れるとかそういうような何か視覚的に訴えるようなことを、できるかどうかはわかりませんが、検討していきたいと思います。
土屋委員	「Café ふあもあ」さんを選んだ理由と、あと動画制作を外注している会社さんどこに依頼しているのか。そこで動画 1 本撮影は職員さんされて編集だけで 1 本 11 万円は結構なかなかいとお値段だな、今はそんなもんなのかしらというところが気になったので確認させてください。
山田	まず、「Café ふあもあ」さんを選んだ理由といたしましては、藤沢産利用推進店には、ひとキュンとふたキュンというランク付けをしているのですが、どれだけ藤沢産のものを利用しているメニューを取り扱っているかというところでランク付けをしており、ふたキュンの利用推進店さんの中からピックアップをして選んだというような経過がございます。 次に委託業者ですが、「ビーンビズ」さんという業者さんの方に依頼をしております、こちらの業者さんはおいしい藤沢産ホームページの方も運営を委託している会社さんになりますので、そこをお願いをしたという経過がございます。

土屋委員	今、YouTube 見たところ視聴回数が2ヶ月前のアップで85回ということなのでもっと見てもらえるといいなと思いました。
穴戸委員長	他にございますでしょうか。それでは特にないようでしたら、次の議題に移らせていただきます。 令和8年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会事業計画（案）について、事務局から説明をお願いします。
山田	それでは令和8年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会の事業計画についてご説明させていただきます。 今年度の計画については、令和7年度の取り組み継続を基本にしておりますが、前回実行委員会の意見交換の結果も踏まえて作成しております。 それでは資料8をご覧ください。 まずスライドの2と書いてある、地域特産物の生産・加工に関するセミナーの開催およびかながわブランドの登録品PRということで、今年度も引き続きかながわブランドに登録された農産物の農水産物のPRに努めます。 現時点では新たな登録といった話はありませんが、既存の登録品についても必要に応じて、PR等支援していきたいと考えております。また昨年度実施できなかった専門家によるセミナーについても、関係機関との調整ができましたら実施したいと考えております。以上を踏まえて、今年度の予算額は20万円を予定しております。 次に藤沢産農水産物を利用した加工品の開発支援というところで、昨年度は先ほどもご報告ありました通り、藤沢産津久井在来大豆を使用したしぼり豆の開発を支援いたしました。今年度も新たな加工品開発の取り組みがあった場合には、開発費を支援したいと考えております。 予算額は、容器包装類の支援として、前年度と同額の10万円を予定しております。 続きまして小学校でのふりふりバター体験事業、保育園児と生産者の交流事業ということで、まず小学校でのふりふりバター体験事業ですけれども、やまゆりポーク生産者協議会と連携して毎年度実施している事業になります。 今本事業については、これまで1学年2クラス数という比較的小規模な学校のみに対応だったのですが、今年度はより多くの児童・学校に体験の場を与えられたらというところで、1学年3クラスの学校も対象となるように事業費の見直しを行いました。そのため予算額を増額し、6万円を予定し

ております。

続きまして保育園児と生産者の交流事業についてですが令和8年度は、またの保育園と辻堂保育園でバケツ稲というバケツで稲を育成して、生産者さんと一緒に収穫をしたりというような事業になりますけれども、こちらを引き続き実施予定です。

こちらは対応する講師の引き継ぎを視野に今年度に限り対応する人員が増える関係で予算額が増額となっております、9万円を予定しております。

続きまして農薬や化学肥料等を用いず栽培された農産物の給食の提供については引き続き支援を継続していきます。

地産地消モデル校を始めとする、比較的小規模な小学校では農薬や化学肥料等を用いず栽培された農産物の給食提供というのは進んでいるものの、大規模学校では提供提供食数の多さから対応が難しい部分も多くあり、今後拡大をしていく上で課題が残りました。引き続き、課題の整理や効果的な手法の検討について取り組んでまいります。今年度予算額については前年同額の5万円となります。

地産地消イベントも継続実施をいたします。11月開催予定の農薬や化学肥料等を用いず栽培された農産物のマルシェの他、例年どおりふじさわ元気バザールや藤沢産サンセットマルシェにおいて、藤沢産の水産物のPRを行います。

また市主催の子供たちのいろんなアイディアをプログラミングで形にして、作品の発想力や表現力を審査するふじさわプログラミングコンテストについて今年度は「藤沢の“おいしい”を発見しよう」をテーマに開催するということなので、それに関連して、コンテスト参加者向けの短期講座等が予定されているという話を伺っております。そちらについては地産地消推進事業実行委員会として協力したいと考えております。予算額についてはそれぞれマルシェについては20万円、その他のイベントについては14万円を予定しております。

次に花育体験イベント事業PR用花き等購入費についても取り組みを継続いたします。展示物については花きを中心に農産物についても展示をしております、来庁者へPRを行います。予算は前年度実績に鑑み、13万円と増額をしております。PR用花き購入費については前年同額の8万円を予定しております。

続きまして緑育体験イベントになります。

より市民の方に緑や植木を身近に感じてもらう機会を創出するため今年度も引き続いて、事業イベント等を実施してい

きたいと考えております。予算は14万円となります。

先ほどお流しした動画プロモーションビデオの作成についても、今年度も引き続き実施をしていきたいというふうに考えております。予算は前年度同額の11万円です。

続きまして、藤沢産利用推進店PR用「食べ歩きマップ」の作成ということで、昨年度は食材別のマップを作成したんですけれども、今年度については新規に何か新たに食材別のマップ等を作成するというのではなく、現在不足しているマップの増刷と年末頃にまた利用推進店の更新がありますので、そちらを反映した改訂版の作成を予定しております。

改訂版の作成時には先ほど少しご案内しました、ふじさわキュンマップへの誘導などもできたらと考えております。

予算については25万円を予定しております。

続きまして、藻場保全事業になります。令和6年度から開始した藻場保全事業への支援についても、持続可能な生産環境を維持するため継続したいと考えております。海藻の生い茂る「藻場」は、多くの生き物の産卵・育成の場である他、二酸化炭素の吸収源であることから、保全に取り組むことにより、ブルーカーボンクレジットの取り組みに波及することも期待されます。予算は前年度実績に鑑み増額をし、14万円を予定しております。

続きまして、湘南藤沢市民マラソンにおける藤沢産農水産物のPRということで、先ほどもご報告いたしましたが、昨年好評だった湘南しらすの配布を今年度も実施したいと考えております。漁協さんとの相談にはなるのですが、可能であれば昨年度食数が1,000食から、1500食に増やしての提供を予定しております。そのため予算は昨年度に比べ増額をして、13万円を予定しております。

次にその他ご意見に対する回答ということで資料をご覧ください。

前回会議で委員の皆様から頂戴したご意見に対する事務局の見解についてです。

全てを時間の都合上取り上げることはできないのですが、お二方から未利用魚の活用についてご意見いただいておりますので、ご案内させていただきます。

お二方から未利用魚の活用について、缶詰やパテ・フィレなどの生産をご提案いただいております。

そちらにつきましては、未利用魚の加工品開発や給食活用については実行委員会といたしましても、漁協さんですとか水産加工会社を交え数年にわたって協議を重ねてまいりました。ただその中で統一規格原料の安定供給が求められる加工

品の開発ですとか、給食の提供については、漁獲量が不安定になりがちな未利用魚で、採算を取るために事業計画していくことが非常に困難であるという結論に至りました。このため、今年度は予算化については見送りましたが、一方で江の島フィッシャーマンズマルシェでは、未利用魚を活用したペットフードが販売されているというお話もあります。こういった未利用魚の価値を高める取り組みについては引き続き注視をしてまいりたいと思います。

先ほども申し上げましたが、意見を全て取り上げるのは会議の都合上省略させていただきますので、他の意見につきましては、配付資料をご覧くださいと思います。

以上の説明を踏まえた収支予算案が別紙 9 の 1 と 2 になります。

令和 8 年度予算の収入の部をご覧ください。

今年度は前年度実績を踏まえて、イベント参加料と預金利息額について予算として増額したため 184 万 5669 円の収入を見込んでおります。

支出につきましては、先ほどお伝えした未利用魚の活用については今年度予算化しませんでした。その他の事業についての増額や減額については資料 8 にて説明の通りとなります。

支出についても、総額 184 万 5,669 円の見込みとなっております。

続きまして、本日配付させていただいた、資料 10 をご覧ください。

実行委員会の所属部会ということで、皆様のお手元にある第 5 期計画の 34 ページをご覧くださいと思います。

藤沢市地産地消推進協議会では、計画において重点的に取り組む施策を積極的に推進するために、実行委員会の中では三つの部会を編制しています。

1 番が藤沢ブランド創出部会、2 番が学校・保育園給食供給強化部会、3 番が地産地消普及啓発部会というような形で部会を設定しており、今後計画を進めるにあたり実行委員の皆様を担当する部会を事務局の方で設定させていただきました。

前回会議後に皆様へ実施した意見照会に基づき設定をしております。年度の途中には担当部会等の事業について必要に応じて部会を招集することもあるかと思いますので、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

以上で令和 8 年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会の事業計画（案）についての説明を終わります。

宍戸委員長	ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問やご意見などがございましたらお願いします。
土屋委員	二つありまして一つは、6番の農薬や化学肥料等を用いず栽培された農産物のというところのマルシェの部分の来場者数の目標が1250名（前年度実績と同数）となっておりますが、確か前年度実績は650ぐらいだったような気がするのですが。
山田	すみません。これは資料の誤りになりますので訂正をお願いいたします。
土屋委員	前年度実績と同数ではないけれども、目標としてはということですね。ありがとうございます。 あとですね度々YouTubeの話になりますが、YouTubeの動画を作って、お店さんの方に「これを見てきたよ。」という声があるのか、YouTubeをやる費用対効果といいますか、その部分でこれはまたYouTubeに対しての11万円を計上されているのでしょうか。それともまた、結構Instagramグラムの方、結構投稿されていると思いますが、YouTubeではない、短編動画とかを、年に数本作ってInstagramであげるとか、あとはその編集する業者さんを1本だけのために11万円予算かけるぐらいだったら、一般の方に1万円あげるからお店行って食べて動画あげてよと頼んだ方が、いっぱい上がるのではないかと思います。それならば10本作成が可能となります。そのYouTube動画1本11万円を今年も継続されるつもりなのかどうかをお聞かせいただきたいのと、費用対効果の確認方法などが、もしあるようでしたらお聞かせいただきたいです。
河原崎補佐	ご意見ありがとうございます。このYouTubeの運用については、事務局としても課題があるとは思ってはおります。ただ藤沢産利用推進店のひとキュン、ふたキュンのランク分けの中でふたキュンのインセンティブとして、こういった動画の作成をして、様々な媒体で紹介をするというところを一つ考えているので、費用対効果がなるべく高い、いい方法を模索しながら続けていきたいなと思っています。全く昨年度と同じようにやればよいとは思ってはいないので、今いただいたご意見等を参考にしながら、Instagramも並行して、おっしゃっていただいた通り運用していて、そこのリール動画など

	も投稿したり、それをYouTubeのショート動画として見れるようにするなど、お金をかけずとも動画でPRできる方法はあると思っておりますので、並行して進めていきたいと思えます。 あとそれから、この動画を見てお店に来られた方とかというところも、今そこまで検証はできていないというところが正直なところですけども、合わせて作成している食べ歩きマップの部分も、そういった検証が必要かなとも思いますので、今後検討させていただければと思います。ご意見ありがとうございます。
宍戸委員長	他にありますでしょうか？
石川委員	市民マラソンのところの農産物のPRというところで、これ湘南しらすを選ばれたのはなぜなのかと、これ他にしらす以外のもので何かそういう検討されたものがあったのか、お聞かせください。
河原崎補佐	取り組みについては、過去のこの実行委員会の方で委員の皆様から三浦半島の方で実施しているマラソンで大根を配ったりするような事例をご紹介いただいて、せっかく地元のマラソン大会があるのであれば、そういった取り組みを参考にしたらどうかとご意見をいただいてきました。 配布するものについては、しらす以外にもちょうどこの1月の後半にマラソン大会が開催されるということは、もう決まっております、その時期にまず配布が可能な農産物という視点で、イチゴであるとか、ミニトマトであるとかそういったものも候補にはさせていただいて、マラソンの実行委員会と協議をしましたその中で配布がしやすいであるとか、あとはマラソン大会のスタートとゴールが江の島で、マラソン大会のコースが134号線相模湾を望む部分というところがあるので、そういったところの親和性も考えて湘南しらすがいいのではないかとというところで、しらすを選んだというものになります。
石川委員	わかりましたありがとうございます。 なんかせっかく私もこの地産地消でいろいろ今日説明を受けて、何か北のやはり農作物とかが、何かやっぱり少しPR弱いのかなと思ったので、あえてその別にしらすだったら周りにしらす屋さんたくさんあるので、そこをやるのはというところ

宍戸委員長

ころを思ったので、質問させていただきました。

他にご意見ありますでしょうか。ちょっといいですか。

「ひとキュン」・「ふたキュン」とか、そのランクが何となく認定ランクが私が藤沢市には住んでいないので、だからわかりにくいのです。スタンダードとプレミアムみたいなわかりやすい方が、なんかお店に付加価値が付くと思います。このゆるキャラみたいなのに合わせてのひとキュン・ふたキュンなのかもしれないですが、やはりひとキュン・ふたキュンは伝わりにくくて、スタンダードとプレミアムみたいな感じにすれば、何かプレミアムに行ってみたいなとか、まずはスタンダードかなとなりそうな気がします。あまりにも、知る人ぞ知るといような印象ですので、もう少しわかりやすいような表示の仕方が新しい食べ歩きマップだと何かプレミアムって言われると何か食べに行きたくなるけど、ふたキュンだとふたキュンかみたいなの、わかりにくいなと思いました。

河原崎補佐

このランク分けになっているのが元々藤沢市のシティプロモーション上、「キュンとするまち、ふじさわ」というキャッチフレーズでシティプロモーションを展開してきていて、併せて、この食べ歩きマップとかにも出てきている市のゆるキャラが「ふじキュン」という名前になっていること等の背景があって、ランク分けをしているというところがありますので、宍戸先生のご意見はご意見として承りますが、そういう背景を説明させていただければと思います。

宍戸委員長

ありがとうございます。他に意見等ありますでしょうか。

宍戸委員長

次に議題の3になりますが、何かございますでしょうか。
(事務局からはなし)

ないようでしたら、以上をもちまして本日の議題は全て終了いたしました。

皆様のご協力により会議が円滑に進行できましたことをお礼申し上げます。それでは進行を事務局にお返しいたします。

4 閉 会

河原崎補佐

宍戸先生ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして令和8年度第1回藤沢市地産地消推進事業実行委員会を閉会いたします。

本日はご審議いただきましてありがとうございます。
最後に事務連絡ですが、協議会の方でもお伝えしましたが今年度、地産地消計画の改訂年度となっております、資料3のスケジュールにある通り、第2回の協議会を8月中旬ということで、予定しております今のところ事務局側としては8月13日の午後に開催させていただければと思っております。

会場は同じこの市役所の会議室になります。

また正式に、時間や場所についての詳細については、開催通知の方でお知らせいたしますが、前もって予定が開けるようであれば、その日にちを空けといていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

以上をもちまして協議会実行委員会の方終了となります。
本日はありがとうございました。

お車でお越しの方で駐車券の認証等をお済でない方といらっしゃいましたら、農業水産課の職員の方にお声がけください。

机上に置かせていただいております、藤沢市地産地消推進計画においては回収させていただきますので、そのまま机上に置いたままにしていいただければと思います。

よろしくお願いいたします。

終 了